

浄心寺だより

発行

浄心寺門信徒会

郵便番号714-0081

笠岡市笠岡2065

電話(0865)62-2623

FAX(0865)62-2595

振替01260-9-13760

<http://joshinji.suki-ari.net/>

寒風に梵鐘の音ひびく除夜の空



除夜会・修正会 12月31日

「み法を味わって」(七)

しあわせ

しあわせを求めない人はこの世にいないでしょう。しかし、しあわせに至る道を真剣に求める人はそれほど多くはないのです。しあわせを求めても、たとえそれがどんなに熱心でも、気持ちだけで根のないものなら、実現できないばかりでなく、ただ迷いをくり返すだけに終わることでしょう。目標を定めず、むやみやたらと進みさえすればどうにかなるというものではありません。それではかえって暗闇に落ち込んで、こんなに努力しているのに神も仏もあるものか、などと自分勝手な愚痴をこぼすようになるのがおちです。

しあわせとは何であり、私の求むべきしあわせは何処にあり、それに至る道はどうしたら得られるのか、また今の私の心や行ないは、しあわせになれるにふさわしいのか、真剣に考え求めたいものです。

真実の人生のしあわせ(これが彼岸です)を教え示す仏道を、今こそ、ぜひ聞きましょう。

鷹谷俊昭著『月ごとのことば』転載

ごあんない

春季彼岸会・永代経法要

三月十六日(木) 十三時半より

ご講師 備後教区布教団三名

報恩講法要厳修



十二月三日、報恩講と親鸞聖人御誕生850年立教開宗800年お待ち受け慶讃法要が勤まりまし

た。正午からの仏教婦人会によるお斎は、今年もコロナ禍で中止。法要は十三時半から正信偈をお勤め。組内法中の参り合いはなく、住職と前住職が出勤しました。ご講師は三原市大和町の徳正寺住職、徳正俊平先生でした。

お話は「善と悪」について。先生はお子さんから、『オオカミと七匹の子ヤギ』の読み聞かせを毎晩せがまれると。ここではオオカミは悪であり、コテンパンにやられた挙句、最後には死んでしまいます。善に立つと悪はどこまでもたたいていいものになります。物事を善悪で判断する危うさがそこ

にはあります。

『歎異抄』に「善人なおもて往生を遂ぐ、いわんや悪人をや」とあります。先の価値観では悪人は捨てられるべきもので救いの対象とはなりません。しかし、阿弥陀さまの前では真逆になるのです。

阿弥陀さまは「平等な目線で物事を見る」といわれます。「公平」は、例えばみんなに一つづつお饅頭をあげるようなもの。「平等」はそれぞれが満足するだけの数をあげる、というもの。平等とは結果が同じになることだと。

阿弥陀さまの目線では、悪人にはより手助けが必要となります。

善人と同じように救われねばなりません。そこで「善人でさえ救われるのだから悪人ならなおさら」ということばとなるのです。

「知ってやる罪、知らずにする罪」といわれます。どんな縁が重なって悪事を行うかもしれない私たちです。自覚のないまま悪人になっている私たちを救いたいと願うのが、阿弥陀さまの慈悲です。

私たちには「善か悪か」よりむしろ、阿弥陀さまの願いを「信じるか疑うか」なのです。

備後教区内の門徒推進員十七名も参拝され、にぎやかな法要となりました。

やさしい仏教講座

第19回 2月9日(まとめ)

『立花隆さん』

令和三年に往生されましたが、ジャーナリストとして田中角栄元首相の金脈を暴いたり、臨死体験について調べたりと、多くの本を著してきました。「知の巨人」と言われる同氏の考え方には浄土真宗との共通点が多くあります。

「哲学的、科学的世界観にもとづく無宗教派」という点は、根拠のない迷信や習俗にとらわれず、



「葬式にも墓にもまったく関心がない」という点は、葬儀は残った者が故人の死を受け容

科学的な仏教的ものの見方をして生きる、という点と。

「死後の世界が存在するかどうかは個人の情念の世界の問題」という点は、経典に説かれる浄土を信じて、自分がしっかりと生きれるかどうか問題、という点と。

「葬式にも墓に

れるためのもの。墓の遺骨は故人の形見ではあるが、遺骨に執着するのはよくない、という点と。

『どこに救いを求めるのか?』

「法話ではよく「阿弥陀如来が救ってくれる」という説き方がなされますが、一体救いの中身とは何なのでしょう? 経典には「救いは極楽の完成により達成されている」とあります。だから、「救いを疑う必要はない」といわれます。

そうすると、救いの根拠は極楽の存在にあることになります。「極楽浄土によって救われる」という

説き方もアリではないでしょうか。

『過去帳・位牌について』

葬儀の時には白木の位牌を用いることが多いですが、これは仮のもの、浄土真宗では過去帳に記入します。漆塗りの位牌を作る方もおられますが、用いませ。また、繰出し位牌といって位牌の中に板を複数枚収めて過去帳代わりに使うこともあります。浄土真宗では位牌に手を合わせることはしないので、お仏壇の中心には置かないようにしましょう。

令和5年度 行事計画

◎ 春季彼岸会、永代経	3月16日(木) 13時30分	備後教区布教使3名(布教大会を兼ねて)
◎ 本山慶讃法要参拝	4月11日(火)	京都、西本願寺(日帰り)
◎ 花まつり	4月29日(土)	白印茶会も開催中(予定)
◎ 初参式	5月4日(木) 10時	希望者とその家族
◎ 総会	5月13日(土) 11時	
◎ 降誕会 仏教讃歌と上方落語	13時	女声コーラス同好会 コール清風 チャリティーコンサート 落語:笑福亭生喬 師匠
◎ 法物虫ぼし法座	7月18日(火) 13時30分	三原市大和町・浄楽寺 栗原一乗 師
◎ サマースクール	7月21日(金) 9時から16時	教区内スタッフ 2名
◎ 盂蘭盆会	8月14日(月)15日(火) 10時・14時	住職、前住職
◎ 秋季彼岸会、永代経	9月21日(木) 13時30分	福山市内海町・善正寺 那須英信 師
◎ 地区委員会	12月2日(土) 11時30分	
◎ 報恩講	13時30分	三原市大和町・正圓寺 石川知全 師
◎ 除夜会、修正会	12月31日(日)・元旦	
◎ 新春のつどい	令和6年1月中旬	
◎ 春季彼岸会	令和6年3月 日時未定	講師未定
あさのおつとめ	通年毎朝6時	
◇ やさしい仏教講座 なるほど浄土真宗	【20】4/13(木) 【21】6/7(水) 【22】8/19(土) 【23】10/10(火) 【24】12/6(水) 毎回19時30分 解説:住職	
◇ 境内清掃のつどい	毎月15日 13時30分より(但し1,8,9月はお休み、6,7月は7:30から)	
※「浄心寺だより」発刊	143号(5月) 144号(7月) 145号(11月) 146号(3月)	
仏教婦人会	総会 例会 各種研修会 研修旅行 料理教室 福祉施設慰問 清掃奉仕など 5/4(木)初参式 4/25(火)創設30周年記念式典	
文化箏同好会	毎月第1金曜日 13時30分 指導:平田澄子 先生	
女声コーラスコール清風	毎月第2土曜日 9時30分 指導:平田澄子 先生	
本山関係	親鸞聖人御誕生850年 立教開宗800年 慶讃法要 など	
備後教区	各種研修会 定例法座(毎月11日) 報恩講(11/30) 総代研修会	
備中里組	同朋研修協議会 キッズサンガ 第8期連続研修会 など	

地区委員さん登場



活かし、不定期のアルバイトやシルバー人材センターに会員登録をして活動されているそうです。

自宅で娘さん二人との四大家族で暮らされており、時間のある時には、散歩をしたり、墓参りをして周りの草取りなどをしている、とのこと。

地区委員となつてまだ日が浅く手探りの状況ですが、皆さんのご指導を仰ぎながら、少しでもお役に立ちたいとことでした。

第18回 12月14日（まとめ）

「小学三年生の息子が何度も死んだらどうなるのと聞いてきます。どう答えれば」という相談に、若新氏の答えは…科学的には死後の世界はあるともないとも証明できない。信じるかどうかは信仰の問題。科学者や宗教者の考えを調べて自由研究にしたらどう？」と。

死後の問題は、生きる上で希望を見出せることが大切です。その答えを用意するのが「宗教」です。

浄土真宗では「極楽浄土」の存

在を信じます。これによって「今の私」が救われるのが大事です。

ロバート・デニーロ主演『俺たちは天使じゃない』で、偽神父の名説教があります。「私たちは困難に出会った時、解決策を自分の中には持ち合わせていない。だから神を信じることで心が安らぐなら：信じればいい。あなたが何かを信じたなら：神はそこにいる」

宗教は個人の内面の問題である

入江 住谷大志さん



ことを見事に言い当てています。

「南無阿彌陀仏」の意味は「阿彌陀仏にありがとう」ですが、何に感謝するのでしょうか？

「南無阿彌陀仏」の意味は「阿彌陀仏にありがとう」ですが、何に感謝するのでしょうか？

『無量寿経』には「阿弥陀さまが法蔵菩薩の時に立てた、人々を救いたいという多くの願いが成就した結果、極楽浄土ができ、阿弥陀如来となった」とあります。極楽こそ私たちが救われる世界であ



極楽浄土が完成！
(救いの確立)

ですから、
「極楽の創造」に感謝
するのです。

參加者募集

4月11日（火）に日歸りで西本願寺の慶讃法要に参拝します。

金浦の報恩寺さんとの合同参拝で、定員が23名、参加費八千円。

[illegible]

「御絵伝について」

『本願寺聖人親鸞伝絵』という絵巻物が、詞書と図絵とに分けられ、それぞれが御伝鈔、御絵伝として広まりました。作者は親鸞聖人のひ孫である覚如上人。

この中に「信行両座」という場面があります。極楽往生が定まるのは「本願を信ずる時に」か「念仏を励むことによつて」なのかを問うた場面です。親鸞や法然は前者に着きます。宗教で重要なのは「信ずる」ことです。

『法名について』

法名とは仏教徒としての名前で
す。本来は、生前にもつべきもの
です。浄土真宗では「釋○○」。
釋はお釈迦さまのシャカ族から。

仏婦コーナー

アソカの園

研修旅行に行ってきました

十一月十七日、日帰りで淡路島に行きました。総勢三十一名。

瀬戸大橋を渡り、まずは徳島県美馬市へ。四国での浄土真宗発祥の寺院、安楽寺に参拝。見事な朱塗りの山門をくぐり、本堂で当山ご住職による沿革説明を聞き、書院や能舞台を案内していただきました。旧本堂建て替えの際に天井

仏具おみがき

一年間の本堂の仏具の汚れを落とす「おみがき」が、十一月八日行われました。

婦人会の方々総勢二十三名で九時より、取り外された仏具のおみがきを行いました。一つ一つの部品を流れ作業できれいに磨き、仏具も新品のような輝きを取り戻しました。昼食をお持ち帰りいただいて解散となりました。昨年十二月の報



裏から出てきたという、楽器を演奏する天女像三体も拝見しました。参拝者から見えないところで浄土の微妙音を奏でるとい



報恩講で赤飯

恩講では新型コロナウイルス感染症予防のため「お斎」を中止にしましたが、婦人会の一部の方のお手伝いのもと、赤飯を炊き、当日みなさんにお持ち帰りいただきました。ちなみに親鸞聖人は小豆が好物だったとのこと。

仏婦例会

3月12日(日)
13時半より

初参式

5月4日(木)
10時より



路島へと渡りました。

昼食は「のじまスコーラ」という、廃校となった小学校を利用した施設で、イタリアンのコース料理をいただきました。クロスのかかったテーブルにフオークとナイフが並び、少々緊張しながらの食事でしたが、味は格別でした。

帰路は明石海峡大橋を渡り、すばらしい景色を眺めながら、旅の余韻に浸りました。

仏婦30周年記念式典

4月25日(火)
13時より



花まつり(甘茶をどうぞ)

四月二十九日(土) 午前中

追悼

藤井孝子さん



12月1日 68歳
生江浜

昨夏に病気が分かっただけで、惜しまれ多く聞かれます。仏教婦人会では書記をつとめ、「浄心寺だより」の編集委員も長く勤めていただきました。これからの浄心寺や仏婦を担っていただく方だけに、大変残念です。

還浄(げんじょう)

(敬称略)

長安	清子	10	26	四番町
藤井	亨	10	27	生江浜
水川	愛子	11	1	入江
新田	とみ子	11	2	金光町
佐藤	芳子	11	2	殿川
長安	平八郎	11	4	孫治端
森山	芳子	11	8	中央町
高田	文彦	11	8	生江浜
三好	ミサエ	11	22	静岡県
神	信太郎	11	24	玉島
長谷川	愛親	12	8	鴨方町
水田	修	12	10	仁王堂
平田	高年	12	11	西の浜
油利	忠孝	12	11	大井南
岡田	須美子	12	15	浜中
岡本	ユキ子	12	16	赤磐市
溝口	富子	12	17	福山市
赤松	洋子	12	17	新横島
多賀	隆	12	22	大阪市
山口	八重子	12	24	里庄町
鈴鹿	勝彦	12	29	交野市
徳永	純子	12	30	入田
藤井	義則	12	30	土手
大石	博	1	5	広島市
池	千恵子	1	14	福山市
松田	良三	1	18	押撫
今岡	弘子	1	24	里庄町
高田	光子	1	28	入江
稲美	義夫	1	28	生江浜

浄土真宗



教えと
そのあゆみ



私たちの宗門(16)

浄土真宗の礼拝対象

阿彌如来絵像(方便法身尊像)

宗祖は名号を本尊としたからといって、木像や絵像の阿彌陀仏を拝むことを拒否したわけではありません。

●方便法身と法性法身

中国の曇鸞大師は、仏の身に法性法身(ほっしょうほうしん)と方便法身(ほうべんほうしん)の二種があるといっています。

法性法身は色もなくまた形もないので人間の心で想像したり、言葉で表現することのできない、さとりそのものをいいます。

このさとりの世界に私たちを導くために法性法身が姿を現したのが方便法身の阿彌陀仏で、その姿を絵や彫刻で表現しました。

方便は梵語のウパーヤで「近づく」という意味です。仏の姿をみてさとりに近づくということなのです。

●十二光仏を配した本尊

絵像本尊も名号本尊もいずれも

方便です。われわれは疑い深く迷い多い人間であるから、方便によって真実のさとりを得るほかに手だてはありません。そのさとりの世界の有様をさらに詳しく理解させるために、阿彌陀仏像の周辺に十二光仏の姿を描いたものが、初期教団にわりあい多くみられます。十二光仏は、阿彌陀仏の機能を十二に分析して説明を加えたものです。

蓮如上人は、当初は無碍光本尊(十字名号)を浄土真宗の本尊として用い、木像・絵像などの礼拝を拒否しました。「蓮如は無碍光流の邪義を説いている」と非難する比叡山の僧兵に本願寺を破却されて以後は、無碍光本尊の授与を中止し、白紙に六字・九字・十字の名号を書き、本尊として授けました。その中でも六字名号が特に多くあります。

その後、門徒の強い要望により絵像の本尊を授けるようになりました。さらに寺が建てられると木像の阿彌陀仏像を安置するようになりました。

境内墓の塀工事完成

昨年九月より着工していた境内西墓地の墓塀工事です。が、塀の工事並びに墓石の再設置が完了し、十二月二十四日に落成法要が営まれました。倒壊の危険が迫っていただけに、すみやかに改修できて一安心です。

塀沿いに排水溝を新たに設置したために、少し墓所が狭くなった関係で、ほとんどの墓地が左右へ多少移動しましたが、みなさんには快く了承いただきました。

また、この際墓じまいをされた家も多く、今後も墓じまいが進んでいくと思われます。



●阿彌陀仏のいろいろな姿

宗祖は『愚禿鈔』の中で、仏身に法身(法性法身)・報身(方便法身)・応身(資質や能力に対応して現れる仏)・化身(かりに姿を現した仏身、「方便法身」という)の四身があると述べています。また化身は仏以外の姿をした仏身をもいいます。例えば善導大師は阿彌陀仏の化身であるといわれます。また親鸞聖人も門弟たちに阿彌陀仏の化身であると尊敬されました。

お盆参りの中止について



これまで一部の地区を除き、多くのお宅にお参りしていたお盆参りですが、前住職も高齢となり、お約束通りお参りできないことが増えてまいりました。また平日は留守のお宅も増えております。

このような事情で、今年からは希望されるお宅だけにお参りし、それ以外の皆さまにはお寺での「孟蘭盆会」にお参りいただくことにしました。

ご自宅へのお盆参りをご希望の方は、六月三十日までに浄心寺までお知らせください。日時を調整し、後日お参りの日程をお知らせします。また孟蘭盆会は八月十四日、十五日の両日におつとめします。いずれかにご参拝ください。

編集後記

春の訪れが待ち遠しい日々ですが、如何お過ごしでしょうか。

昨年の報恩講法要、令和五年の春季彼岸会、本山の慶讃法要への参拝のご案内等々をお知らせする第142号をお届けいたします。

桜の便りもあと少し、季節の変わり目です。ご自愛ください。

(編集委員 釋賢大)